

令和4年度

一般会計・特別会計予算概要

令和4年2月  
函南町長 仁科 喜世志

## 一般会計予算

令和4年度 函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 11,690,000千円で、前年度比665,000千円、6.0%の増額となりました。

令和4年度は、第六次函南町総合計画後期基本計画の初年度となります。町の将来都市像「環境・健康・交流都市函南」の実現のため、前期基本計画を評価検証し、各分野において行政効果が最大限に発揮できるような予算を編成し、「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の6つの基本政策のもと、計画性と公平性を持った施策の展開を図り、次世代につなぐまちづくりを推進してまいります。

主な施策としましては、次のとおりです。

### 施策の柱：環境【 環境・防災 】

#### 基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 1,390,160千円

異常気象・気象変動の影響による災害の発生要因として、温室効果ガスの増加による地球温暖化が挙げられているなか、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進します。

また、違反盛土等造成行為や不法投棄による災害発生の恐れや環境汚染の発生を防ぐための対策に努めます。

さらに、交通安全対策や、消防・救急体制の充実を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

#### ・環境基本計画の策定

町の環境保全に関する総合的な施策を示す環境基本計画を策定し、「低炭素」・「循環」・「自然共生」等に対する環境政策の方向性を示します。 予算額 5,052千円

#### ・再生可能エネルギーの普及及び機器への助成

環境への負荷の少ないエネルギーの利用を促進し、環境負荷の軽減と地球環境保全の意識を高めるため、住宅用太陽光発電システム設置への助成に加え、蓄電池の設置に対する助成も行います。 予算額 2,345千円

#### ・ごみ分別便利帳の作成

ごみの減量化・再資源化（リサイクル）と、ごみの分別の徹底を図るため、町民がごみの分別やリサイクルの方法、再資源化の流れを一目でわかる情報を掲載した冊子を作成します。 予算額 902千円

#### ・盛土の監視強化

安全・安心な住環境等の維持に危険を及ぼす恐れのある、土採取現場等の測量を行います。また、町の承認が必要な事業か否か等を判断するための簡易測量を行う備品を購入します。 予算額 2,703千円

・災害時の状況把握の強化

国土交通省が設置している河川情報カメラの映像を庁舎内で視聴できるようにするためのネットワーク設定を行います。また、寄贈されたドローンを、災害時の状況把握に活用するため、職員のドローン操作技術を取得させるための研修費用を計上し、災害時の情報収集力を強化します。 予算額 814千円

・水害への対応

大雨、台風等の水害に備えるため、老朽化した蛇ヶ橋ポンプ場排水ポンプ整備工事を行います。 予算額 7,700千円

・消防団車両の更新

火災等緊急出動時の消防団活動を円滑に実施する体制を構築するため、老朽化した消防団第2分団のポンプ車両を更新します。 予算額 26,952千円

・消防救急体制の強化

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合へ負担金を支出し、町民の安心・安全な生活を守ります。 予算額 496,645千円

**施策の柱：環境【社会基盤】**

**基本目標 ◎ コンパクトで効率的な都市づくり 915,979千円**

地域公共交通の弱体化が進行しているなか、行政、地域住民、交通事業者が協力し、地域に最適な地域公共交通の実現を目指します。

また、幹線道路や身近な生活道路等の整備、維持補修を行い、町民の安全性と利便性の向上を図ります。

さらに、良好な住環境や都市機能等の実現に向けて、総合的かつ効率的な土地利用の推進に努めます。

・公共下水道事業の推進

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計への繰出しを行います。 予算額 370,000千円

・合併浄化槽設置の普及促進事業

快適な生活環境づくりと良好な水環境保全のため、公共下水道事業認可区域外及び田代農業集落排水事業処理区域外の生活排水処理について、合併浄化槽への切替えを促進します。

予算額 3,110千円

・主要町道等の整備

通勤、通学時の歩行者の安全を確保するため、国庫支出金を活用し、主要町道や狭あい道路の整備、橋梁点検等を行います。 予算額 123,955千円

- ・生活道路の維持補修  
老朽化により路面の劣化が激しい道路や、交通量の多い生活道路の改善を図るため、舗装工事やトンネルの点検業務を行います。 予算額 141,236千円
- ・道路パトロールの強化  
安心・安全な道路を維持するため、町が管理する道路のパトロール業務を委託し、異常個所の早期発見、早期改善を図ります。 予算額 3,977千円
- ・循環バスの実証運行業務  
公共交通空白地域の解消と、伊豆仁田駅の交通結節点としての活用、町の拠点施設への交通手段を確保するため、引き続き町内循環バスの実証運行、評価検証を行い、町の新たな公共交通ネットワークの構築を図ります。 予算額 35,698千円
- ・空家等対策計画改定  
効果的な空家対策の促進及び良好な住環境の維持を図るため空家等対策計画を改定します。 予算額 3,200千円
- ・立地適正化計画基礎調査  
頻発・激甚化する自然災害への対応を図るため、立地適正化計画に防災指針を盛り込んで改定するための基礎調査を実施します。 予算額 5,500千円
- ・住宅環境の整備  
安全で安心な住環境向上と居住性向上のため、木造住宅等の耐震補強、雨水浸透施設、防災ベッドの設置等に係る費用を補助します。 予算額 12,058千円

## 施策の柱：健康【健康・福祉】

基本目標 ◎ 誰もが生き生きと暮らせる健康づくり 3,081,838千円

健（検）診・保健指導や健康講座、地域に密着した保健活動等を行い、町民のこころとからだの健康の維持・増進に取り組みます。

また、誰ひとり孤立することがないように、地域住民や多機関と協働し、誰もが安心して暮らすことができる地域共生社会の実現に努めます。

さらに、障がいのある人が地域で安心して暮らせるように、専門的な相談に対応できる事業所の支援を行います。

- ・オンライン配信体制の整備  
コロナ禍の影響により密閉、密集、密接の回避が必要となっているなかでも、保健指導や各種教室に安心して参加できる体制を整備するため、パソコンやタブレット、ウェブカメラを購入し、オンライン配信ができる体制を整備します。 予算額 551千円
- ・救急医療体制の整備促進  
夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、沼津夜間救急医療対策協会、田方救急医療協議会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保を図ります。 予算額 23,241千円

・訪問歯科診療用ポータブルユニットの購入

災害時に開業医で診療できない際、救護所・避難所にて治療ができる体制を確保するため、また、高齢化が進むなか、訪問診療のニーズが高まっているため、訪問歯科診療用ポータブルユニットを購入し、医療救護体制の強化と訪問診療ニーズへの対応を図ります。

予算額 715千円

・包括的相談支援事業（重層的支援体制整備事業）

介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮等、各法に基づく相談支援事業を一体的に行い、対象者の属性を問わず、包括的に相談を受けとめ、支援に繋がります。 予算額 21,775千円

・多機関協働事業（重層的支援体制整備事業）

包括的相談支援で受け止めた相談のうち、複雑化・複合化したものを、多機関連携による課題の解きほぐしや地域の困りごとに対するアウトリーチによる支援を拡充し、課題解決に向けた取り組みの推進を行います。 予算額 11,045千円

・国民健康保険制度の円滑な運営

医療技術の進歩により、被保険者の医療制度に対する依存度が高くなるなか、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。 予算額 243,679千円

・後期高齢者医療制度の円滑な運営

高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ、共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。 予算額 492,313千円

・介護保険事業の円滑な運営

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。 予算額 431,832千円

## 施策の柱：健康【教育】

### 基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 3,469,219千円

少子化や夫婦共働きの傾向が強まるなか、子育て世代の保育ニーズを的確に把握し、安心して子育てができる環境整備に努めます。

また、幼児教育に関わる保育士・教諭の資質向上や施設等の環境整備を推進し、小学校への円滑な就学を支援します。

さらに、GIGAスクール構想で整備したICT環境を活用した学習活動の一層の充実や、外国人語学指導助手（ALT）の充実した配置を行い、義務教育の充実を図ります。

#### ・民間保育所の誘致

安定した保育を供給するため、みのり幼稚園北側に、60人規模保育園を誘致し、安心して子育てができる環境を整備します。 予算額 120,538千円

#### ・こども医療費等助成事業

子どもを持つ家庭の経済的な負担を軽減し、子どもが適切な治療を早期に受けられるよう、高校生までの入院や通院に係る医療費の無償化を継続します。 予算額 176,615千円

#### ・外国語教育の充実

外国語教育の充実を図るため、ALTを、小学校4人、中学校2人の体制で取り組みます。 予算額 29,648千円

#### ・ICTを活用した教育の推進

町内小中学校において、GIGAスクール構想に基づくICT教育を推進するため、ICT支援員の配置や、ネットワーク環境の保守管理を行います。 予算額 9,218千円

#### ・合理的配慮をした学習環境の提供

障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶ環境を提供するため、学校支援員や看護師職員の増員、障害児童用階段昇降機の導入を行い、障がいのある子どもの安全な学習環境を整備します。 予算額 5,098千円

#### ・特別支援教育の充実

個別の指導を有する子どもに対応するため、特別支援学級の介助員を配置し、多様な支援、指導の充実を図ります。 予算額 15,140千円

#### ・教育支援センターの運営

複雑化、多様化した児童・生徒の諸問題に対して専門職員を配置し、教育相談の実施、適応指導（チャレンジ）教室の運営、学校支援等の確かな対応を図ります。 予算額 21,435千円

#### ・幼児教育センターの運営

函南町教育大綱の基本構想に掲げる「幼児教育・子育て支援の充実」を推進するため、幼児教育センターを運営し、質の高い幼児教育の提供、保幼小中の連携を図ります。

予算額 4,137千円

・図書館等複合施設の運営

図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を、情報、学習、文化、交流の拠点として有効活用できる場とするため、図書館業務の充実を推進します。 予算額 73,322千円

・柏谷公園野球場の改修

町内体育施設の利用を促進するため、柏谷公園野球場の夜間照明をLED化し、スポーツしやすい環境整備を図ると共に、省エネ対策を図ります。 予算額 14,300千円

・かなみ仏の里美術館の運営

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映を契機とし、美術館所蔵の文化財への注目度や関心を高め、町民が町の文化財に誇りと愛着を持てる気風を醸成すると共に、観光施設の拠点としての更なる誘客も促します。 予算額 17,385千円

## 施策の柱：交流【産業】

### 基本目標 ◎ 活力とゆとりを生み出す産業づくり 427,855千円

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、函南ブランドの情報発信を行い、販路拡大の支援を図ります。

さらに、伊豆半島をはじめとした交流圏域や交流人口の拡大を活かし、広域連携による効果的なPRを行い、国内外からの観光誘客を促します。

・農地の保全、担い手の確保

農業活性化のため、適正な農地保全、農作物の品質向上、環境保全型農業等に対する助成を継続します。また、農業の担い手の育成のため、次世代を担う農業者となることを志す若者に対する支援や、地域の担い手による農業用機械・施設の導入に対する支援を行います。

予算額 9,157千円

・揚水ポンプの更新整備

農業の持続的な発展を目指すため、地元区に設置している揚水ポンプを更新します。

予算額 10,164千円

・森林の整備

森林の適正な管理と山林の保水能力向上のため、森林環境譲与税を活用し、森林整備に必要な林道の補修工事等を行います。また、森林の適正な維持管理を促進するため、荒廃した竹林を整備するための自走式竹破砕機を購入し、希望者に貸し出します。さらに、荒廃森林の整備を促すため、森林整備を行う者に対し補助金を交付し、治山・治水対策を図ります。

予算額 8,141千円

・ふるさと納税の推進

函南ブランドなど町の優れた地域資源を全国にPRするため、ふるさと納税業務委託業者を追加し、地域特産品の情報発信、販路拡大に繋がります。

予算額 29,997千円

・道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

地元農産物のPRや販路拡大、交流人口の拡大のため、交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営に民間活力を導入し、各種分野の連携により地域産業の活性化を図ります。  
予算額 155,791千円

・川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

地域のにぎわいの創出や、地域住民や来訪者との交流、アウトドアスポーツ体験の場の提供のため、水防活動の拠点でもある川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の維持管理を行います。  
予算額 10,514千円

・観光振興イベントの開催

道の駅・伊豆ゲートウェイ函南開駅5周年を記念し、観光振興に関するイベントを開催します。  
予算額 1,229千円

・中小事業者への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営が厳しくなった中小事業者を支援するため、金融機関から借入れした融資の利子相当分を助成します。  
予算額 16,574千円

## 施策の柱：交流【交流・にぎわい】

基本目標 ◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 2,404,949千円

今後、一層進展することが予想される情報化社会に対応するため、デジタル技術を活用し、住民サービスや事務効率の向上に取り組みます。

また、国、県からの権限移譲による町の事務が増加傾向にあるなか、適正な人員配置、事務の効率化に取り組みます。

さらに、社会保障関係費の更なる増加が想定される厳しい財政状況を踏まえ、効率的・効果的な財政運営を図ります。

・地域づくり事業（重層的支援体制整備事業）

地域住民が地域社会に参加する機会を確保するための支援や、地域生活課題の発生防止、解決に係る体制整備、地域住民相互の交流を行う拠点の開設を行います。 予算額 7,609千円

・都市交流事業

異文化交流、国際交流を推進するため、アメリカ合衆国カーマン市との交流や、在住外国人との交流を促進します。 予算額 303千円

・FMみしま・かなみの活用

町の情報、各種イベントを周知するため、地域FMコミュニティ放送を活用し、イベントへの参加促進や情報周知を図ります。 予算額 7,106千円

- ・戸籍システムの更新

戸籍情報の保全性を強化するため、戸籍システムのクラウド化への移行業務を行います。また、クラウド化により、戸籍全部証明のコンビニ交付サービスが可能となり、住民の利便性向上を図ります。

予算額 27,686千円

- ・自治体DXの推進

国が定めた自治体DX推進計画をもとに、デジタル技術、情報セキュリティ等に関する専門的な知識と実績を持つ業者の支援を受け、町が取り組むべき事項について、具体的なスケジュールを定め、自治体DX推進を進めていきます。

予算額 1,307千円

- ・移住就業支援事業

地方の担い手不足を解消するため、東京圏の人材を静岡県へ就業、函南町へ移住した者に補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住定住の促進を図ります。

予算額 3,000千円

- ・シティプロモーション動画の作成

函南町の魅力を分かりやすく全国にPRするため、シティプロモーション動画を作成し、移住定住の促進を図ると共に、移住定住に繋がる関係人口の拡大を目指します。

予算額 1,000千円

- ・定員管理等実態調査の実施

行財政改革として、職員の定年退職の引上げや役職定年制、再任用制度の見直し等により、長期的な職員管理に伴う各課の配置人数や全体の職員数の適正を図る事を目的に、各課の職員数、業務量の調査・分析・検討を実施するための支援を専門業者に委託します。

予算額 4,615千円

## 一般会計 歳入歳出別 概要説明

### 歳入

自主財源において、歳入の根幹である町税は、5,115,861千円で、前年度比 3.5%の増となりました。これは、社会経済の回復による町民税の増額と、コロナ禍対策での固定資産税の負担軽減制度分の増額によるものです。

分担金及び負担金は、126,588千円で、前年度比 0.9%の減となりました。これは、後期高齢者医療広域連合派遣職員の帰任による人件費負担金の皆減によるものです。

使用料及び手数料は、140,867千円で、前年度比 3.7%の減となりました。これは、函南駅前町営駐車場の使用料等の減額によるものです。

寄附金は、60,342千円で、前年度比 20.0%の増となりました。これは、ふるさと納税サイトの追加によるふるさと納税寄附金の増額によるものです。

繰入金は、496,084千円で、前年度比 151.5%の増となりました。これは、町立学校建設基金、財政調整基金繰入金等の増額によるものです。

これらに、財産収入、繰越金、諸収入を加えた自主財源の総額は、6,356,155千円で、前年度比 496,280千円、8.5%の増額となり、歳入に占める自主財源の割合は、1.1ポイント増の 54.3%となりました。

一方、依存財源において、地方消費税交付金は、前年度比 92,000千円、13.1%増の 792,000千円となりました。これは、コロナ禍による厳しい経済状況の回復を見込んだことによるものです。

地方特例交付金は、30,000千円で、前年度比 50.0%の減となりました。これは、固定資産税及び都市計画税における負担軽減制度による減収分を補填するための新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆減と、自動車税及び軽自動車税の減収補てん分の皆減を見込んだことによるものです。

地方交付税は、1,358,000千円で、前年度比 3.4%の増となりました。これは、地域デジタル社会推進費分としての増額を見込んだことによるものです。

国庫支出金は、1,567,440千円で、前年度比 24.6%の増となりました。これは、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る国庫負担金が皆増したほか、民間保育所整備助成に係る国庫補助金が増額したことによるものです。

県支出金は、849,895千円で、前年度比 4.1%の増となりました。これは、小規模保育所の増設により子ども子育て支援給付費県負担金が増額したことによるものです。

町債は、344,400千円で、前年度比 56.3%の減となりました。これは、緊急防災・減災事業債が皆減したほか、臨時財政対策債が大きく減額したことによるものです。

これらに、地方譲与税や各種交付金等を加えた依存財源の総額は 5,333,845千円で、前年度比 168,720千円、3.3%の増となり、歳入に占める依存財源の割合は、1.1ポイント減の 45.7%となりました。

## 歳出

議会費は、114,759千円で、0.1%の増となりました。これは、職員人件費が微増したことによるものです。主な歳出として、議員報酬と職員給与等議会の運営及び活動費を計上いたしました。

総務費は、1,345,897千円で、10.6%の増となりました。これは、戸籍システムのクラウド移行に伴うシステムデータ移行業務を始めとする委託料が増額したことによるものです。主な歳出として、職員人件費、庁舎維持経費に係る財産管理事業費、公園管理費、文書広報事務経費、電子計算事務の経費を計上いたしました。

民生費は、4,564,818千円で、10.0%の増となりました。これは、小規模保育所の増設に伴う保育所施設型給付委託料が増額したほか、民間保育所整備に係る助成費や各種扶助費、高齢化社会に伴い後期高齢者医療特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金が増額したことによるものです。主な歳出として、児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉事業に係る経費、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金に係る経費を計上いたしました。

衛生費は、1,191,107千円で、16.7%の増となりました。これは、新型コロナウイルスワクチン接種事業を新年度予算計上したことにより、事業費が皆増したことによるものです。主な歳出として、町民の健康保持と増進を図る検診事業に伴う経費、可燃ごみの安定的な処理や不燃ごみの適正処理費用、合併処理浄化槽の普及に係る経費を計上いたしました。

労働費は、13,228千円で、2.3%の増となりました。主な歳出として、シルバー人材センターへの運営費補助金を計上いたしました。

農林水産業費は、212,673千円で、9.2%の増となりました。これは、池之尻揚水ポンプ場揚水ポンプの更新工事や、落合排水機場の改修事業負担金が増額したことによるものです。主な歳出として、農業委員会事務事業、畜産振興事業、町営土地改良事業等に係る経費、農業集落排水事業特別会計への繰出金を計上いたしました。

商工費は、256,728千円で、2.4%の増となりました。これは、ふるさと納税サイトの追加に伴う運用代行業務委託料の増額や、道の駅開駅5周年を記念するイベント運營業務委託料の皆増によるものです。主な歳出として、道の駅・川の駅の管理運営費、観光振興を図る経費、企業立地設備投資奨励金、消費生活相談員の報酬、商工会事業や町観光協会への補助金等、商工振興に係る費用を計上いたしました。

土木費は、894,612 千円で、1.5%の減となりました。これは、町道及び河川の工事請負費は増額したものの、設計監理委託料が減額したことによるものです。主な歳出として、国庫補助及び町単独道路新設改良事業、河川改修事業、都市計画事業に係る費用等を計上いたしました。

消防費は、631,276 千円で、10.5%の減となりました。これは、消防団員への報酬や駿東伊豆消防組合負担金は増額したものの、分団詰所建替に係る工事費や同報無線デジタル化整備工事費が皆減したことによるものです。主な歳出として、駿東伊豆消防組合負担金、消防団の活動費用、町内各自治会の消防防災資機材の整備に係る防災対策費用を計上いたしました。

教育費は、1,469,780 千円で、2.6%の増となりました。これは、合理的配慮をした学習環境を提供するための学校支援員や看護師職員、こども園化に伴う教諭等、会計年度任用職員を増員したことによるものです。主な歳出として、小中学校の施設維持管理費、人件費等、学校教育に係る費用、文化センター、運動公園等の各施設維持管理費、生涯学習、文化財保護等、社会教育に係る費用、社会体育に係る費用を計上いたしました。

災害復旧費は、6 千円で、50.0%の増となりました。これは、道路災害復旧事業及び河川災害復旧事業における設計監理委託料の科目設定を追加したことによるものです。

公債費は、975,116 千円で、2.4%の減となりました。償還金は、元金分として 933,823 千円、利子分として 41,292 千円、一時借入金の科目設定として 1 千円を計上いたしました。

そのほか、予備費 20,000 千円を計上しました。

これらの結果、経常的経費の総額は、9,754,998 千円で、前年度比 648,310 千円、7.1%の増となり、歳出に占める経常的経費の割合は、0.9 ポイント増の 83.5%となりました。

一方、投資的経費の総額は、731,194 千円で、前年度比 36,276 千円、4.7%の減となり、歳出に占める投資的経費の割合は、0.8 ポイント減の 6.2%となりました。

#### 令和4年度函南町土地取得特別会計予算

令和4年度函南町の土地取得特別会計予算は、歳入歳出それぞれ20,020千円で、前年度と比べ354千円の増額であります。

歳入は、不動産売払収入が20,020千円で、歳出は、土地開発基金繰出金が20,020千円です。

#### 令和4年度函南町国民健康保険特別会計予算

令和4年度函南町の国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額4,073,000千円で、前年度と比べ122,730千円の減額であります。

歳入の主なものは、国民健康保険税が791,040千円、県支出金が2,906,112千円です。

歳出の主なものは、保険給付費が2,842,888千円、国民健康保険事業費納付金が1,118,616千円です。保険給付費は、県が示す試算値を基に過去の給付状況を踏まえ、算出したものです。

#### 令和4年度函南町後期高齢者医療特別会計予算

令和4年度函南町の後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額567,711千円で、前年度と比べ72,032千円の増額であります。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料が470,721千円、他会計繰入金が95,649千円です。

歳出は、広域連合納付金が567,371千円、償還金及び還付加算金が340千円です。

#### 令和4年度函南町介護保険特別会計予算

令和4年度函南町の介護保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額3,268,005千円で、前年度と比べ246,316千円の増額であります。

歳入の主なものは、介護保険料が717,466千円、国、県支出金が1,131,556千円、支払基金交付金が855,064千円です。

歳出の主なものは、職員人件費や介護認定等の総務費が73,780千円、各種介護保険サービスの事業費である介護給付費と予防給付費が3,109,097千円、介護予防や包括的支援等の地域支援事業費が69,709千円です。

## 令和4年度函南町下水道事業特別会計予算

令和4年度の函南町下水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は884,569千円で、前年度と比べ28,156千円の減額であります。営業収益657,589千円の主なものは下水道使用料327,750千円と他会計負担金328,052千円で、営業外収益226,978千円の主なものは長期前受金戻入であります。

収益的支出の事業費用は883,234千円で、前年度と比べ8,719千円の増額であります。営業費用831,079千円の主なものは流域下水道費255,875千円と減価償却費492,414千円であります。営業外費用52,053千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は384,079千円で、前年度と比べ30,823千円の減額であり、主なものは企業債249,100千円と国庫補助金87,500千円であります。

資本的支出は653,591千円で、前年度と比べ58,276千円の減額であり、主なものは未普及対策管きょ埋設工事の建設改良費と企業債償還金 273,988千円であります。

## 令和4年度函南町農業集落排水事業特別会計予算

令和4年度の函南町農業集落排水事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は12,473千円で、前年度と比べ1,714千円の減額であります。営業収益7,012千円の主なものは農業集落排水使用料1,242千円と他会計負担金5,770千円で、営業外収益5,460千円の主なものは長期前受金戻入であります。

収益的支出の事業費用は12,820千円で、前年度と比べ382千円の増額であります。営業費用12,396千円の主なものはポンプ場費4,781千円と減価償却費7,328千円であります。営業外費用423千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は2,191千円で、前年度と比べ2,190千円の増額であり、主なものは他会計出資金であります。

資本的支出は3,712千円で、前年度と比べ88千円の増額であり、主なものは企業債償還金であります。

## 令和4年度函南町上水道事業特別会計予算

令和4年度の函南町上水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は610,731千円で、前年度と比べ1,999千円の減額であります。営業収益543,042千円の主なものは給水収益527,620千円で、営業外収益67,687千円の主なものは長期前受金戻入54,467千円であります。

収益的支出の事業費用は551,254千円で、前年度と比べ16,142千円の減額であります。営業費用545,480千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費251,914千円、職員人件費等の総係費113,404千円であります。営業外費用5,372千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は312,100千円で、前年度と比べ88,000千円の減額であり、主なものは企業債312,000千円であります。

資本的支出は607,621千円で、前年度と比べ24,325千円の減額であり、主なものは第1浄水場更新工事、老朽管の布設替工事等の建設改良費570,947千円と企業債償還金36,674千円であります。

## 令和4年度函南町畑、丹那簡易水道特別会計予算

令和4年度の函南町畑、丹那簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は7,411千円で、前年度と比べ357千円の減額であります。営業収益5,950千円の主なものは給水収益5,839千円で、営業外収益1,459千円の主なものは長期前受金戻入1,307千円であります。

収益的支出の事業費用は5,381千円で、前年度と比べ1,712千円の減額であります。営業費用5,345千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費3,081千円、減価償却費1,313千円であります。営業外費用23千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は101千円で、前年度と同額であり、主なものはその他分担金100千円であります。

資本的支出は719千円で、前年度と比べ76千円の増額であり、主なものは管路破損等工事に要する事業費等の建設改良費100千円と、企業債償還金531千円であります。

## 令和4年度函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算

令和4年度の函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は21,611千円で、前年度と比べ2,154千円の減額であります。営業収益10,545千円の主なものは給水収益9,114千円で、営業外収益11,064千円の主なものは長期前受金戻入10,912千円であります。

収益的支出の事業費用は24,564千円で、前年度と比べ2,158千円の減額であります。営業費用24,497千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費10,559千円、減価償却費12,190千円であります。営業外費用14千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は4,571千円で、前年度と比べ4,470千円の増額であり、主なものは企業債4,470千円であります。

資本的支出は5,364千円で、前年度と比べ3,974千円の増額であり、主なものは施設更新工事等に要する事業費等の建設改良費4,577千円と、企業債償還金780千円であります。

## 令和4年度函南町東部簡易水道特別会計予算

令和4年度の函南町東部簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は134,955千円で、前年度と比べ4,676千円の減額であります。営業収益116,970千円の主なものは給水収益116,829千円で、営業外収益17,983千円の主なものは長期前受金戻入16,931千円であります。

収益的支出の事業費用は138,493千円で、前年度と比べ5,155千円の減額であります。営業費用138,420千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費102,008千円、総係費14,937千円、減価償却費20,073千円であります。営業外費用20千円の主なものは企業債利息であります。なお、この他に基金8,000千円を取崩すものであります。

資本的収入は101千円で、前年度と同額であり、主なものはその他分担金100千円であります。

資本的支出は23,198千円で、前年度と比べ4,296千円の増額であり、主なものは第3ポンプ場非常用発電機更新工事等の建設改良費22,129千円と、企業債償還金1,069千円であります。

#### 令和4年度函南町平井財産区特別会計予算

令和4年度の函南町平井財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額1,155千円で、前年度と同額であります。

歳入は、基金積立金利子が48千円、基金からの繰入金が1,107千円で、歳出は、基金積立金利子の元加積立が48千円、管理会経費が107千円、一般会計への繰出金が1,000千円です。

#### 令和4年度函南町上沢財産区特別会計予算

令和4年度の函南町上沢財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額1千円で、前年度と同額であります。

歳入は、基金積立金利子が1千円で、歳出は、基金積立金利子の元加積立が1千円です。